

には定障らしい定障かたのりか其之法案はついに人々を
れかけられんとして存る在等は唯叫び陣痛か催進する

より道々何の如く報いはわかてはブルジョワに來たる可多事と

前 進進は ^勝 進進人として其か言はさくといはゆるまに自ら

概 見

其の他總同體抄浦慶一清勝取三等の双天會役辞

進に憲法草案五村の陸吾あり其の他石原草十林片

東京印刷工和岡英太郎、小野信次郎、岡田英作

津大乃交の方傍、赤澤赤、等々進進在あり

九時頃に至る聴衆強人と三分の一を功こまのみの浦の時折の

進進金に打一思つた程の盛況と執 事進進するまに到りたり

割合漸しい聲合式下付たといふ感かいた

星製薬製品の不賣を 天下に聲明す

我が關東労働組合會議は、星製薬株式會社製品の不賣問題を遂行することを決議し、此處に天下に聲明するものである。
七月二十三日府下大崎町、星製薬株式會社に於ては、事業不始名目の下で、突如従業員八百三十二名を解雇した。翌二十四日所屬關東労働組合聯合會は、該問題をもちて該聯合會の爭議として東坂自治會致し、二十七日「多々條の要求書」を會社側に提出した。爾來交渉を重ねたる事數回、八月三日、交渉委員五名は社長星屋氏に會見し、その回答を迫つた處、理送る使は「空飛ぶ鳥さへも食つて行ける」との言の下に要求條件の悉くを拒絶した。

星製薬株式會社は、人知る如く、温情主義の徹底せる會社であつて、老練なる星一の外交的手腕は更も角も一時「星王國」と稱はれたが、その裏面には、その人物は星一に對して、星製薬株式會社の一事に依つても知る事の出来るものであらう。而かも會社は「親切那心」の貫徹を掲げ、常に従業員を案じて保護して曰く「星の人は總じて解雇者を出しません」今年の秋には世界一の賞與を止むたいと思ふ」など、か開け中言葉を解きし、皆だしきは神東工業株式の購買をさせて來たのである。かく今日の大なる故せる星製薬は、總括しても何等の慶喜なく此度の大購買を行つたのである。然るに今も特異もするの慶喜を以て街頭に投げ出された八百數十名の従業員は事既に絶し、星に悲慘の極に達してゐる。一方、現従業員に對しては「もう絶対に解雇しません」「安心し續けて同一手段を以つて望み、しかも第三の購買を斷行せんとする噂さへ傳はられてゐる。こゝに於て我が關東労働組合會議は、星製薬株式會社の製品は一品たりとも買ふまい」とを決議し、關東地方に於ける労働組合は完全なる星製薬のボイコットを實行し、且

大正十四年八月十日

關東労働組合會議
加盟 都下全労働組合

星の製品は一品たりとも買ふまい
労働者階級の威力を示せ
星製薬の反省を促がす